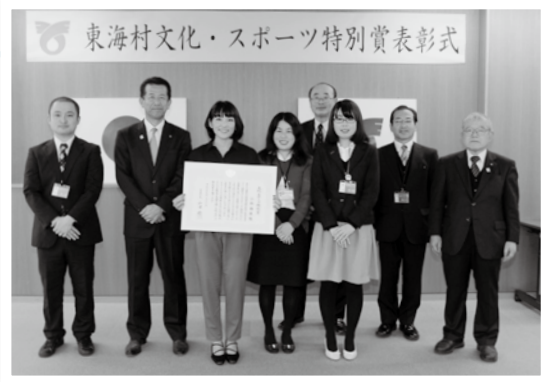




●フリークライマーとして活躍中！小林さんに表彰状

小林由佳さんに「東海村文化・スポーツ特別賞」

このたび、小林由佳さん(東海村出身、茨城県競技力向上対策本部・フリークライマー)が、本村で3人目となる東海村文化・スポーツ特別賞を受賞し、1月13日、役場で表彰式が行われました。この賞は、東海村の名声を高めるとともに、広く村民に明るい希望と誇りを与える功績のあった方に贈られるもの。小林さんは、10歳で競技大会にデビューして以来、これまでに国内外の大会で多くの功績を収めており、昨年開催された岩手国体山岳競技では「リード」、「ボルダリング」両種目共に優勝を果たし、今回の受賞に至りました。幼いころからさまざまなことにチャレンジしてきたという小林さん。クライミングと出会い、最後まで努力すること、継続することの大切さを学んだといいます。「好きなことなら続けられる！頑張れる！」という思いを胸に、そして、応援してくれる家族や友人たちの思いを支えに、辛いことも乗り越えてこられたと話していました。表彰式では、中学2・3年時の担任である藤田洋一指導室長や、中学時代の同級生である村職員からのサプライズスピーチに笑顔の小林さんでしたが、「今後も、ワールドカップや2019年の茨城国体等、良い成績を収められるように頑張りたい」と、力強く意気込みを話してくれました。今後もその活躍が期待されます！



【写真左2番目から】山田村長、小林さん【後列】川崎教育長
【写真左7番目から】藤田指導室長、舛井議長【その他】小林さんと同級生の役場職員



藤田指導室長からお祝いのメッセージを受ける小林さん



東海村文化・スポーツ特別賞は、これまでに卓球選手の吉村真晴さん、オーボエ奏者の荒木奏美さんが受賞しています。今回受賞した小林さんを含め、世界でも活躍する3人を、みんなで応援していきましょう！

●環境保全意識の高揚に貢献した2団体が受賞

平成28年度 環境保全に関する表彰

11月30日、茨城県庁で環境保全に関する表彰式が行われ、株式会社鈴木ハーブ研究所(鈴木さちよ代表取締役)が地球にやさしい企業表彰を、「東海村の環境調べ隊」が環境保全功労者表彰を受賞し、12月13日、村長を表敬訪問しました。これは、環境保全活動について他の模範となる取り組みを行う企業・団体に贈られるもの。鈴木ハーブ研究所では、「北海道富良野市で社員が受けている環境教育を、地元の皆さんにも還元したい」と毎年、住民向けに自然環境教育セミナーを実施するなど、積極的に住民の環境意識の向上に努めています。また、「東海村の環境調べ隊」では、主に小学生を対象とした学習講座を年間20事業以上実施し、自然・文化についての普及・啓発を行っています。代表の林京子さんは、「村や環境を大切にしたい思いは、村を知ることから生まれます。今後も子どもたちの自発的な思いをサポートしていきたい」と話してくれました。



【写真左から】鈴木ハーブ研究所の友広由美さんと鈴木さん、山田村長、「東海村の環境調べ隊」の林さんと中村篤史さん

●イモゾーと一緒に、ほしいものを学ぶ！

ほしいものについての勉強会

12月5日、村松小学校で、3年生を対象に“ほしいものについての勉強会”が行われました。これは、ほしいもの歴史や品種、作り方等を知ること、村の特産品であるほしいものに興味や愛着を持ってもらおうと、村内の小学3年生を対象に、ほしいものに関する説明(村松小学校以外は資料配布のみ)を行うもの。この日の勉強会にはイモゾーも駆け付け、子どもたちは、講師の宮部聡さん(JA常陸職員)から、ほしいもの歴史や作り方等について説明を受けた後、袋詰めされたほしいものを手渡されました。今年度は、実際にほしいもの作りにも挑戦した



という子どもたち——熱心に耳を傾け、地元の特産品への理解を深めていました。